UNIT
13 효율 시대의 여유 : 効率時代のゆとり

아이스브레이킹 ウォームアップ

Q1 **一日の中(または最近)で、一番ゆっくりできるのはいつです(でした)か。**
その時は、普段何をしていますか。

夜、一人で過ごす時間です。好きな音楽を聴いて、一日の疲れを癒します。

밤에 혼자 보내는 시간입니다. 좋아하는 음악을 들으며 하루의 피로를 풉니다.

Q2 **効率よく仕事や勉強を終えて時間が余ったら、その時間を何に使いたいですか。**

余った時間は趣味に使いたいです。好きなことに没頭して、気分転換したいです。

남는 시간은 취미에 쓰고 싶습니다. 좋아하는 일에 몰두하며 기분 전환을 하고 싶습니다.

토론 질문 ディスカッション

Q3 **便利で早い方法があっても、あえて時間のかかる方法を選ぶことはありますか。**
それはどんなときですか。

急いでいないときは歩きます。景色を眺めながら、気ままに歩くのが好きです。

급하지 않을 때는 걷습니다. 풍경을 바라보며 내키는 대로 걷는 것을 좋아합니다.

Q4 **時間やお金がかかっても、「こういう時間っていいな」と感じるのは、**
どんなときですか。

遠くまで星を見に行くときです。手間がかかっても、特別な思い出になります。

멀리까지 별을 보러 갈 때입니다. 수고가 들더라도 특별한 추억이 됩니다.

Q5 **他の人には無駄遣いに見えても、**
自分にとってはお金をかける価値があると思うものは何ですか。

旅行にはお金を惜しみません。新しい経験は、何より価値があると思います。

여행에는 돈을 아끼지 않습니다. 새로운 경험은 무엇보다 가치가 있다고 생각합니다.

Q6 **少し高くても時間を節約できる方法と、**
時間はかかっても安く済む方法では、どちらを選びますか。なぜですか。

多少高くても、時間を優先します。浮いた時間を自分のために使いたいです。

다소 비싸더라도 시간을 우선하겠습니다. 절약한 시간을 자신을 위해 쓰고 싶습니다.

Q7 **特別な日に少し贅沢をするなら、どんなことにお金を使いたいですか。**

記念日には奮発して、少し高級な店で特別な食事を楽しみたいです。

기념일에는 큰맘 먹고 돈을 써서 조금 고급스러운 식당에서 특별한 식사를 즐기고 싶습니다.

Q8 **あまりお金をかけなくても、特別な気分を味わえることは何だと思いますか。**

公園で夕日を眺めることです。お金をかけなくても、風情を感じられます。

공원에서 석양을 바라보는 것입니다. 돈을 들이지 않아도 운치와 정취를 느낄 수 있습니다.

© PALLO! All Rights Reserved.
본 교재의 무단 복제 및 배포를 금합니다.

UNIT
13 육아는 집에서, 어린이집에서?

1 本文

アヤ(32歳)とケンジ(35歳)は共働きの夫婦で、生後6か月の娘がいる。アヤの育休は来月で終わり、延長はできない。そんな中、近くの保育園の0歳児クラスに空きが出た。入園すれば、娘は平日の朝8時から夕方6時まで保育園で過ごし、二人とも仕事を続けられる。断れば、アヤが仕事を辞めて家で娘を育てることになり、同じ条件で復職できるかは分からない。次に空きが出るかも分からず、二人の両親は遠くに住んでいて頼れない。アヤは「3歳までは、自分たちの手で育てたい」と言う。一方、ケンジは「保育士に任せれば、娘もたくさんの人と関われる」と言う。ケンジ自身も、小さな娘を一日10時間預けることに、迷いがないわけではない。育児は親が家庭で担うべきか、それとも保育園に任せるべきか。あなたはどちらを支持しますか。

今日の表現

表現 共働き 맞벌이 / 育休 육아휴직 / 空きが出る 자리가 나다 / 入園 (어린이집·유치원) 입학, 입원 / 復職 복직

2 二つの立場

〈立場 A〉아이가 우선이므로, 부모가 직접 키워야 한다.

- 幼い時期は、親との信頼関係を作る大切な時期だ。
- 子育ての責任は、他人ではなく親にある。
- 仕事はやり直せるが、子どもの幼い時期は戻らない。
- 保育士一人が見る子どもの数には、限りがある。

〈立場 B〉가족의 생활이 우선이므로, 어린이집에 맡겨야 한다.

- 保育士は、子どもの発達を学んだ専門家だ。
- 同じ年の子と過ごすことで、社会性が育つ。
- 収入が安定すれば、子どもに多くの機会を与えられる。
- 親が働き続けることは、家族の生活を守ることでもある。

私の立場 ☐ 立場 A ☐ 立場 B ※中立は選べません

3 ディベート

1R 最初の主張

→ 全員 1回。時計回り。理由は三つまで。

- [ ] 私は○○の立場です。理由は三つあります。まず〜、次に〜
- [ ] これは〜という前提に基づいています。

2R 指名して反論

→ 全員1回。「○○さんに反論します」と言って反論を始める。終わったら隣の人に順番を渡す。

- [ ] たしかに〜ですが、それは〜を前提とした話ではありませんか。
- [ ] その主張は、〜という点を軽視しています。
- [ ] 実際には、〜する場合も少なくありません。
- [ ] そもそも「〜」の定義が違うのではありませんか。

3R 反論に答える

→ 反論された人のみ。パスできない。

- [ ] その指摘は当たりません。なぜなら〜
- [ ] たしかにその点は認めます。ただ〜
- [ ] 今の反論は、私が言っていないことへの反論です。

4 ゆさぶり質問

→ 多数派に先に使う。

1 — 立場 A と言った人へ

家庭で育てることにした結果、収入が半分になり、3年間で貯金(ちょきん)が400万円減ったとします。
そのため、子どもの将来の教育費(きょういくひ)を準備できなくなりました。
それでも、親が家庭で育てるべきだったと言えますか。

2 — 立場 A と言った人へ

親が仕事を辞めて家庭で育てていたところ、その親が病気で3か月入院し、
子どもを見る人が誰もいなくなったとします。それでも、親だけで育てるべきだと言えますか。

3 — 立場 B と言った人へ

保育士不足で、1年の間に担任(たんにん)が3回変わり、子どもが毎朝泣いて登園(とうえん)を嫌がるようになったとします。
3歳になっても、親以外の大人をなかなか信頼できません。
それでも、保育園に任せたことは正しかったと言えますか。

4 — 立場 B と言った人へ

保育園に預けた結果、平日に親と過ごせるのは一日2時間だけになり、
子どもの初めての言葉や初めての一歩も、保育士から聞くことになったとします。
それでも、保育園に預けるべきだったと言えますか。

5 最終質問

- [ ] 立場 A　- [ ] 立場 B　- [ ] 変わった　- [ ] 変わらなかった
- [ ] 最初は〜と思っていましたが、○○さんの指摘で考えが変わりました。
- [ ] 立場は変わりませんでしたが、理由が変わりました。
- [ ] 今まで〜という点を考えていませんでした。

6 使える語彙

2Rの「その主張は〜という点を軽視しています」の〜に入れる材料です。

❶ 立場Aが使う語彙。

愛着(あいちゃく)	애착
しつけ	훈육
親心(おやごころ)	부모 마음
子守(こもり)	아이 보기
寄り添(よりそ)う	곁에 있어 주다
見守(みまも)る	지켜보다

❷ 立場Bが使う語彙。

託児(たくじ)	탁아
保活(ほかつ)	어린이집 자리 구하기 활동
両立(りょうりつ)	양립
息抜(いきぬ)き	숨 돌리기, 휴식
支(ささ)え合(あ)う	서로 돕다
抱(かか)え込(こ)む	떠안다

1R メモ

自分の立場・理由三つ・根拠とした前提

2R メモ

誰に反論するか・相手が軽視した点・自分の反論